

基本目標 2

魅力づくり

「ジブリパーク」を始めとした新たな魅力の創造・発信や愛知県国際展示場「Aichi Sky Expo」を核としたさらなる国際交流の推進、スポーツや伝統文化を生かした賑わいづくりなど、国内外から人を引きつける魅力ある地域をつくります。

主な数値目標

来県者数	5,000万人
» 国内外からの集客	(訪日外国人の増加等を見込み、現状から20%程度の増加を目指す) ※過去3年間(2016～2018年)の平均:4,201万人
観光消費額	1兆円
» 観光による経済効果	(訪日外国人の増加等を見込み、現状から30%程度の増加を目指す) ※過去3年間(2016～2018年)の平均:7,717億円

主な施策

- 「ジブリパーク」を始めとした新たな魅力の創造・発信や観光資源の掘り起こし
- 着地型観光等の新たなニーズへの対応や広域観光の推進
- インバウンドの受入れ環境や観光拠点の整備
- 愛知県国際展示場「Aichi Sky Expo」を活用した展示会産業の振興、MICEの誘致・開催に資する高級ホテルの立地促進
- 世界的なスポーツ大会の開催・招致や大会を契機とした地域活性化、人材育成等の推進



ジブリパーク
「青春の丘エリア」基本デザイン



亀崎潮干祭



愛知県観光PR用
ロゴマーク



愛知県国際展示場「Aichi Sky Expo」



第18回アジア競技大会
(2018/ジャカルタ・パレンバン) 開会式の様子

基本目標 3

人の流れづくり

成長分野などの企業誘致や、大学の魅力づくりの取組により、チャレンジ精神を持った若者を引きつける魅力の向上を図るとともに、UIJターン希望者や留学生と県内企業とのマッチング支援などにより、地元人材の定着や東京圏等からの人口流入・定着を促します。

主な数値目標

県外との転出入者数	5年間で75,000人の転入超<上方修正>
>> 愛知への人の流入 (若年層が減少する中で、過去20年の人口流入トレンドを継続) ※過去20年間(2000~2019年)の年平均:15,018人	
労働力人口の全国シェア	6.2%
>> 人の集積、交流拠点 (過去5年間の最高6.1%を上回る) ※過去5年間(2015~2019年)の平均:6.1%	

主な 施策

- 「産業空洞化対策減税基金」の活用等による産業立地促進
- ジェトロ等と連携した外資系企業誘致
- 県内大学の魅力づくり・活性化、大学等の資源を生かした地域連携
- 交流人口や関係人口の拡大による移住促進
- UIJターン希望者と県内企業のマッチング支援
- インターンシップの実施や企業見学会の開催など留学生の県内就職の促進
- 人の流れを支える社会基盤の整備・機能強化



県内大学の魅力づくり
「愛知県大学対抗ハッカソン」



東京圏在住の女性を対象とした
愛知の住みやすさPRイベント

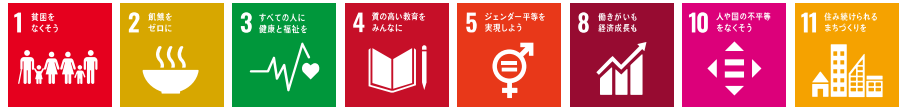


UIJターン促進
「首都圏在住者向け就活フォーラム」



留学生地域定着・活躍促進事業
「企業見学ツアー」





基本目標 4

結婚・出産・子育て環境づくり

若者の就職・職場定着支援等により、経済的安定を図るとともに、結婚・出産・子育て支援のさらなる充実を図り、さらに女性の活躍促進や働き方改革を推進することにより、若い世代が希望を持って働き、暮らし、安心して結婚・出産・子育てができる環境をつくります。

主な数値目標

若者(25~44歳)の完全失業者数	25,000人以下 <上方修正>
» 若者の経済的安定	(過去5年間の最低 25,000人以下を維持) ※過去5年間(2015~2019年)の平均: 38,200人
女性(25~44歳)の労働力率	76.1%以上 <上方修正>
» 子育てをしながら働き続けられる環境の実現	(第1期の目標値 73.1%から3ポイント以上の上昇を目指す) ※過去5年間(2014~2018年)の平均: 72.2%

主な施策

- 小・中・高等学校・特別支援学校を通じた体系的・系統的なキャリア教育の推進
- 愛知労働局と連携した総合的な就労支援、就職氷河期世代の活躍支援
- 企業と協力した婚活イベントなど出会いの場の創出
- 周産期医療体制の充実や産科医の確保
- 子どもの貧困対策、待機児童解消に向けた保育所等の整備、放課後児童クラブや放課後子ども教室の充実支援
- 幼児教育・保育の無償化の実施
- 女性の活躍促進やテレワーク導入促進など、働き方改革の推進



キャリア教育の推進
(中学生の職場体験)



放課後児童クラブの様子



ママ・ジョブ・あいちカウンセリングの様子



あいち女性輝きカンパニー優良企業表彰



基本目標 5

暮らしの安心を支える環境づくり

「人生 100 年時代」と言われる中、医療・介護・福祉の充実に加えて、労働や地域活動への参加を促進することで、年齢、障害の有無、国籍に関わらず、誰もが生涯にわたって活躍できる社会を実現します。

主な数値目標

健康寿命	全国 1 位 (2022 年：男 75 年以上、女 80 年以上)
>> 健康に生きられる長寿社会	(健康寿命と平均寿命の差(男性 8.20 年、女性 10.59 年)の半減を目指す) ※2016 年：男 73.06 年〔全国 3 位〕、女 76.32 年〔全国 1 位〕
労働力率	現状値 (64.5%) を上回る<上方修正>
>> 全員活躍社会	(高齢化に伴う低下傾向の中で、現状水準の向上を目指す) ※2004 年：64.0%⇒2014 年：62.7%⇒2019 年：64.5%

主な施策

- 企業等における健康経営の促進など健康づくり支援
- 高齢者の通い場づくりのためのモデル事業の実施、認知症サポーターの養成
- 就労と生きがいがいづくりの一体的支援、移動支援の推進などによる高齢者の社会参加促進のためのモデル事業の実施
- 特別支援学校での職業教育の充実など障害者の就労支援
- 外国人材の早期適応研修モデルの作成及び普及、外国人児童生徒の日本語教育など多文化共生の推進
- 防災リーダーの育成など地域防災の担い手の確保



愛知県
健康経営推進企業マーク



高齢者の通い場づくり



高齢者の社会参加促進
「あいちシルバーカレッジ」の授業風景



多文化共生
日本語スピーチコンテスト



防災・減災カレッジ
「地域防災コース」受講の様子



基本目標 6 活力ある地域づくり

県内のバランスある発展のため、県内で先行して人口減少が進む地域において、地域資源を生かした魅力の発信等により関係人口を拡大し、人口の維持・増加を図る取組を行います。また、経済・社会・環境が調和した持続可能な地域をつくるため、SDGsの理念を踏まえた様々な取組を進めます。

主な数値目標

三河山間地域及び離島の観光客数	【三河山間地域】・【離島】前年度比100%
》 交流人口・関係人口の拡大	(近年減少傾向にある中、現状水準を維持) ※【三河山間地域】2018年度：660万人【離島】2018年度：52万8千人
三河の山里サポートデスク等を通じた移住者数	5年間で1,000人 <上方修正>
》 県内のバランスある発展	(近年減少傾向にある中、現状水準を維持) ※2015～2018年の計：796人

主な施策

- 東三河地域における観光・産業振興・就業促進
- 「関係人口」創出に向けた魅力PRなどの三河山間地域、三河湾の島々等の振興
- 公共交通の維持・充実に向けた市町村や交通事業者等と連携した取組の推進
- 再生可能エネルギー等の普及や生物多様性保全、循環型社会の形成など環境面の持続可能な社会に向けた取組の推進



東三河スポーツツーリズムの推進



あいちの離島3島の魅力PR
(アイランダーへの出展)



三河の山里サポートデスク
移住相談会の様子



令和元年度
「SDGs未来都市」選定証授与式



総合戦略の 推進に当たって

1. 多様な主体との連携

総合戦略の推進にあたっては、市町村を始め、産業界、国の関係機関、教育機関、金融機関、労働団体、報道機関、NPOなど、様々な主体と連携・協力し、人口ビジョンで示した目指すべき方向や将来展望を共有しながら、地域一体となって施策・事業を推進していきます。

東京圏への一極集中にストップをかけていくためには、中京大都市圏、さらには中部圏といった広域エリアが一体となって、強みを発揮していくことが必要なことから、様々な分野において近隣県等との連携強化を図っていきます。

2. 国の制度・施策の活用

総合戦略の推進にあたり、国は、財政面、情報面、人的な面から、地方自治体への様々な支援策を講じていくとしており、そうした国の支援策を最大限活用し、効果的な施策・事業の推進を図っていきます。

3. 総合戦略の進行管理

有識者等からなる検証組織により、毎年度、施策・事業の進捗状況や数値目標、重要業績評価指標 (KPI) の達成状況についての検証を行いながら、必要に応じて施策・事業を見直すなど、PDCA サイクルによる進行管理を行っていきます。



愛知県政策企画局企画調整部地方創生課

〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号

電話 052-954-6093